



第7回 福岡市史講演会

九州と東アジア — 辛亥革命の衝撃

辛亥革命から100年。その歴史的意味を、孫文に指導された革命史という従来の観点だけでなく、東アジア国際秩序の変動がこの地域に何をもちたらし、それがどのように九州とつながっているか、新しい視点から見直していきます。

日時:平成23年10月29日(土) 14:00~16:30

会場:エルガーラホール 7階 中ホール
(福岡市中央区天神1丁目4-2)

入場無料・事前申し込み不要(先着順300名)

主催:福岡市(福岡市史編さん室) 共催:東アジア近代史学会, 福岡ユネスコ協会
お問い合わせ先 福岡市史編さん室 TEL092-845-5245



講師紹介



「辛亥革命後の『日支親善』論
— 第一次大戦期の中野正剛と安川敬一郎」

有馬 学 Manabu Arima

福岡市史編集委員会委員長、九州大学名誉教授。専門は日本近現代史。

1976年に東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。九州大学文学部講師・助教授・教授、同大学院比較社会文化研究院教授を経て、2009年定年退職。



「宮崎滔天と辛亥革命」

ジョシュア・A. フォーゲル Joshua A. Fogel

カナダ・ヨーク大学教授。専門は中国近現代史・日中関係史。1980年にコロンビア大学Ph.D取得。ハーバード大学、カリフォルニア大学を経て、2005年より現職。京都大学客員教授(1996~97年)。

学術シンポジウム 辛亥革命と東アジア

■日時：平成23年10月30日(日)10:00～ ■会場：エルガーラホール 7階 中ホール

■入場無料(日本語による資料代1,000円)一部中国語の報告。通訳はありません(日本語のペーパー参照)

主催：「辛亥革命と東アジア」実行委員会(東アジア近代史学会、福岡ユネスコ協会) 後援：国際交流基金

部会①「辛亥革命と東アジアの変容－経済・思想・文化」 10:15～12:00 一部中国語の報告。通訳はありません

《報告者》●石川亮太(佐賀大学経済学部) ●陳 慈玉(台湾中央研究院近代史研究所)
●周 頌倫(東北師範大学歴史文化学院) ●與那覇潤(愛知県立大学日本文化学部)
《司 会》●月脚達彦(東京大学大学院総合文化研究科)

部会②「王朝の解体と東アジアの国際政治」 13:00～14:30 一部中国語の報告。通訳はありません

《報告者》●麻田雅文(日本学術振興会) ●欒 景河(中国社会科学院近代史研究所)
●中見立夫(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
《司 会》●佐々木揚(佐賀大学文化教育学部)

全体会「辛亥革命と東アジア」 14:45～17:15 一部中国語の報告。日本語通訳あり

《報告者》●櫻井良樹(麗澤大学外国語学部) ●馬 建標(復旦大学歴史学系)
●李 栄薫(ソウル大学校経済学部) ●川島 真(東京大学大学院総合文化研究科)
《司 会》●井口和起(東アジア近代史学会会長)

お問い合わせ先 福岡ユネスコ協会 TEL092-715-8768



福岡市博物館部門別展示 アジアの激動と 福岡ゆかりの人びと

19世紀半ばからの100年間、アジアはまさに激動の時代でした。中国で清朝が滅び中華民国が成立した辛亥革命(1911年)の前後、アジアや日本の未来に熱いまなざしを向けた、福岡ゆかりの人びとを紹介します。

開催期間：平成23年9月21日(水)～11月6日(日)

開館時間：9:30～17:30(入館は17:00まで)

(月曜休館、祝・休日の場合は開館し翌平日休館)

会場：福岡市博物館 部門別展示室1,2

観覧料：一般200(150)円、高大生150(100)円 中学生以下無料

※常設(総合)展示室と常設(部門別)展示室の共通観覧券の料金 ※()内は、20人以上の団体料金
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、および福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市発行のシルバー手帳などをご提示の場合は入場無料

福岡市博物館

シーサイドももち・福岡タワー南

住所 福岡市早良区百道浜3丁目1-1
TEL 092-845-5011 FAX 092-845-5019
HP <http://museum.city.fukuoka.jp>

交通案内

■市営地下鉄(博多駅から約15分、天神駅から約10分)
西新駅(1番出口)下車 徒歩15分

■西鉄バス(博多駅から約35分、天神駅から約20分)
博多駅交通センター(5番のりば)より約35分
天神バスセンター前(1Aのりば)より約20分
「博物館北口」「博物館南口」「福岡タワー南口」下車すぐ

